

## ■大阪大学と京都大学 明

るく光るコケを開発した。写真  
真は阪大提供。発光するたん  
ぱく質などを体内で作るよう  
遺伝子を組み換えた。満月や  
野生の光るキノコと同じくら



い明るく光  
る。街路樹  
などに応用  
すれば、電  
気を使わず

道路や街を照らせ節電に役立  
つ。スポーツ競技場の芝など  
向けで5年後に実用化する。

開発したのは、阪大の永井

## 発光する コケを開発

健治教授と京大の河内孝之教  
授ら。ゼニゴケの遺伝子を組  
み換え、基質を分解する酵素  
と蛍光たんぱく質を作るよう  
にした。液体の基質を振りか  
けると0・29秒の明るさで緑  
色に光った。植物を光らせる  
従来の研究に比べて約10倍明  
るい。

今後は基質も植物が体内で  
作るよう改良する。米国で効  
果を試し、日本への導入を目  
指す。蛍光たんぱく質の種類  
を変えれば赤や青などの光を  
出せる。